



「戯曲 オムレツ・ハウス」

第二話 若いふたり

作・雨宮 大智

「オムレッツ・ハウス 第二話 若いふたり」

対象…中学生〜大学生・一般向け

上演時間… 十五分程度

登場人物

山谷 静	(四十六才、女性)	…レストランのオーナー
烏丸 大吉	(四十二才、男性)	…コック長
富沢よう子	(二十一才、女性)	…コック見習い
中川 大和	(二十五才、男性)	…ウェイター
田中 真	(三十一才、男性)	…お客・デザイナー
吉永 英子	(二十一才、女性)	…お客・編集者見習い

舞台しもてから、田中と英子が入ってくる。

英子 .. わたし、こんな高級そうなお店は初めて。

田中 .. 僕の取引先なんだ。僕のつくったスタンプカードを使ってもらっているんだよ。

英子 .. そうなのね。

田中 .. こんばんば。デザイナーの田中です。

中川 .. いらっしやいませ。ああ、田中さん、今日はプライベートですか？

田中 .. はい。今日はお客として来ました。

中川 .. ありがとうございます。どうぞ、こちらへ。

二名さま、ご案内。

舞台中央のホールへ、中川が二人を案内する。

中川 .. こちらがメニューになります。

注文がお決まりになりましたら、お呼びくださいませ。

英子 .. ありがとうございます。

田中 .. さて、何にしようか。

英子 .. こんなオシャレなお店なら、ドレスアップしてくれば良かったわ。

田中 .. 今の服装でも大丈夫だよ。

今日はちょっと奮発してみたんだ。

フルコースにしてみようか。初めてだけど。

英子 .. お任せするわ。

田中 … じゃあ、お肉料理のコースを頼もうか。

英子 … はい。

田中 … すいません、注文をお願いします。

中川 … はい、ただいま。

お決まりですか？

田中 … Aコース、お肉のコース料理をふたり。

中川 … かじこまりました。Aコースがおふたつですね。

しばらく、お待ちください。

中川が舞台中央から、舞台かみでのキッチンへと移動する。

中川 … オーダー入りました。Aコースがお二つ。

烏丸 … Aコース、お二つ。

中川 … 若いふたりのデートですね。

いやー、うらやましいな。

富沢 … どんな方？

中川 … ほら、この間スタンプカードを作ってもらった、田中さんだよ。

富沢 … 田中さん、彼女がいたのね。わたしショック。

烏丸 … 彼女連れか。田中さんも隅におけないじゃないか。

中川 … ウチのレストランをデート先に選んでくれるなんてうれしいね。

さて、肉料理のフルコースは……。

(ひと息に)

前菜が「とうもろこしと桃のコンポジション」。

スープが「イベリコ豚とほうれん草のポタージュ カプチーノ仕立て」。

メインが「鹿肉のメダイヨン フランボワーズ赤ワインソース

ジャガイモのムースリーヌとシャンピニオンのロースト添え」。

デザートが「リンゴのムース完熟梅のクラッシュゼリーのせ」ですね。

さあ、ちゃっちゃと作っちゃいましょう！

英子 … こんどの八月号、写真が心配なんです。

解像度が余り高くなかったから。

田中 … デイスカバーのページ？

英子 … はい。

田中 … あの写真のサイズなら、問題ないと思うよ。

レーザープリンタでの出力は大丈夫だったんでしょ？

英子 … 大丈夫だと思います。

田中 … 英子さんの会社のレーザープリンタなら、よく分かるはずだよ。

英子 … そうなんですわ。

中川がキッチンから舞台中央の客席へ、料理を運んでくる。

中川 … お待たせいたしました。

「どうもろこしと桃のコンポジション」です。

英子 … わあ、美味しそう。

田中 … 随分と彩りがきれいだね。夏らしいな。

中川 … 夏をイメージした一品でございます。どうぞ、ごゆっくり。

英子 … それでは、いただきます。

田中 … いただきます。

英子 … ……あの、わたし会社を辞めようと思っんです。

田中 … どうしたの？ 話してみて。

英子 … はい。上司とうまくいかなくて。

田中 … 英子さんらしくないなあ。上司って、中村さんでしょ。

英子さんが折れる所は折れなくちゃ。

英子 … ……そうですね。わたしが強く出てもどつしよつもなくて。

田中 … そうだね。強く出ないほうが、普通だろうから。

英子さんなら、大丈夫だよ。

英子 … なんだか、話したらスツとしました。

今日は誘ってくれて、本当にありがとうございました。

田中 … 僕も、英子さんの笑顔が見れて良かったよ。

お、スープが来たみたいだ。

中川がトレイにスープを運んでくる。

中川 … 「イベリコ豚とほうれん草のポタージュ カプチーノ仕立て」でございます。

英子 … ありがとうございます。

田中 … ありがとうございます。いい香りだね。

中川 … どうぞ、ごゆっくり。

中川が舞台かみでのキッチンへと入っていく。

富沢 … いいなあ。田中さん、デザイナーでしょ。かっこいいよね。

烏丸 … デザイナーは、憧れるな。

舞台かみてから、山谷オーナーが入ってくる。

山谷 … お疲れさま。今日のお客さまの入りはどうかしら。

中川 .. デザイナーの田中さんがいらっしやっております。

山谷 .. 野上印刷の田中さん？ この前のスタンプカードのお礼を言ってこなくちゃ。

中川 .. これから、メインの肉料理を運ぶ所なんです。

山谷 .. そう。なら、わたしも一緒に行きますね。

中川 .. では、伺いましょう。

中川と山谷が、揃って舞台中央のホールへと向かう。

中川 .. お待たせいたしました。

「鹿肉のメダイヨン フランボワーズ赤ワインソース

ジャガイモのムースリーヌとシャンピニオンのロースト添え」でございます。

英子 .. 美味しいそう！ でも長い名前ね。

中川 .. どうぞ、「鹿肉のメダイヨン フランボワーズ赤ワインソース

ジャガイモのムースリーヌとシャンピニオンのロースト添え」を

お召し上がり下さいませ。

山谷 .. 田中さん、本日はご来店いただきまして、どうもありがとうございます。

愉しんでいただいておりますでしょうか？

田中 .. こんばんは、山谷オーナー。

本当に美味しい料理で、正直驚きました。

山谷 .. お褒めの言葉、ありがとうございます。
今日はお友達連れなんですネ。

英子 .. どうも、初めまして。
編集者見習いの吉永英子と申します。
どの料理も、美味しいものばかりで……。
今日は来て良かった。

山谷 .. 喜んでいただいて、嬉しい限りです。
それでは、引き続きお愉しみ下さいませ。

英子 .. どうもありがとうございます。

田中 .. 今の方が、このレストランのオーナーの山谷静さんだよ。

英子 .. そうなんですね。美人さんですね。
わたし、今日来て良かったです。仕事の相談にも乗ってもらえて。

田中 .. 僕も連れてきて良かったよ。
仕事の話なら、いくらでも相談に乗るよ。いつでも言うてね。

英子 .. はい。

中川が舞台中央の客席に入ってくる。

中川 .. お待たせいたしました。
デザート「リンゴのムース完熟梅のクラッシュゼリーのせ」でございます。
料理は以上です。どうぞ、お召し上がりくださいませ。

田中 .. 美味しそうな彩りだね。

英子 .. ん！ 美味しい。

中川 .. ありがとうございます。

どうぞ、ごゆっくり。

田中 .. 英子さん。僕と、お付き合いをして欲しいんだ。

僕じゃ、ダメかな？

英子 .. ありがとうございます。わたしからもお願いします。

お付き合いして下さい。

田中 .. 思い切って、言って良かった。

明日から、また頑張れる気がするよ。

英子 .. そうですね。

田中 .. それじゃ、食べ終わったら、後は帰ろうか。

英子 .. はい！

舞台しもての会計所の方へと歩き出す二人。

山谷オーナーが、キャッシャーで会計を行う。

山谷 .. 今日はお越しいただき、ありがとうございました。

田中 .. 美味しいお料理で、本当に驚きました。

それから、僕たち付き合うことになったんです。
思い出に残る日になりました。ありがとうございました。

山谷 .. 田中さんの新しい角立ちの舞台となれて、本当に嬉しく思います。
有難うございました。

田中 .. また来ます。今度はクリスマスかな。

山谷 .. いつでもお待ちしておりますよ。

舞台しもてのキャッシャーから離れ、舞台袖へとはける二人。

山谷 .. ご来店、ありがとうございました！

(結)